

3. 地域ごとの景観づくり方針

本市全域の視点から、景観ゾーン、景観ベルト、景観拠点、眺望景観ポイントごとに「景観特性ごとの景観づくり方針」を示しました。それに基づき、ここでは、市民により身近な生活環境のまとまりである都市計画マスタープランにおける 11 地域ごとに「景観づくり方針」を定めます。なお、景観拠点においても、先導的に景観形成を図る地区として「景観づくり方針」を定めます。

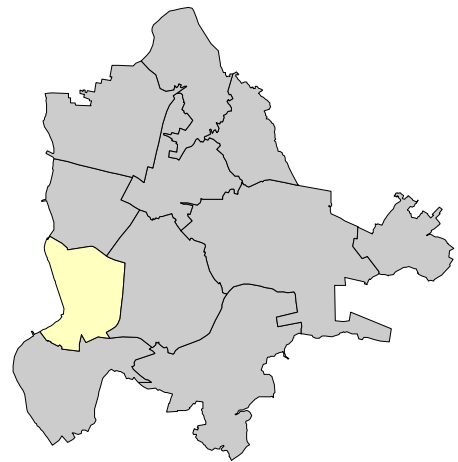
(1) 松戸地域

1) 概況、特性

本地域の地形は、江戸川沿いの低地部と東側の台地部に分けられ、その境には斜面林がまとまっています。松戸駅周辺は本市を象徴する中心的な商業拠点であり、にぎわいを形成しています。江戸時代に水運で発展した松戸宿の歴史的な箇所であり、水戸街道を船でつなぐ渡しは、江戸の出入り口にあたる重関所でした。渡しまでの「渡船場道」は、両側に旅籠屋・船持・船乗・魚類商が軒を連ねて賑わっていました。現在では、「是より御料松戸宿」の碑が建てられています。

またこの地域は、松戸神社や松龍寺などの由緒ある社寺や、戸定邸、小山樋門橋（レンガ橋）など歴史的に貴重な建造物を見ることができます。

江戸川では、花火大会や、スポーツ、コスモス・レンゲを育て河川敷を花で彩る市民活動などが行われ市民に親しまれています。坂川では、まちづくりと連携した川づくりが行われ、近年では、「松戸宿坂川献燈まつり」など、昔からの伝統行事を引き継ぎながら新しい文化を創る取組みが進められています。



分類	景観要素
自然（水と緑）	江戸川、坂川、浅間神社の極相林、戸定が丘歴史公園、相模台・岩瀬などの斜面林、松戸中央公園、千葉大学園芸学部など
歴史・文化	戸定邸、松戸神社、来迎寺、善照寺、西蓮寺、宝光院、松龍寺、納屋河岸、小山樋門橋（レンガ橋）、旧水戸街道沿いの古い町屋など
まちなか・営み	伊勢丹前プラザ広場、松戸駅前、伊勢丹通り、ふれあい通り、松戸まつり、松戸宿坂川献燈まつり、花火大会、聖徳大学など
まち並み・眺望	松戸駅周辺のまち並み、戸定邸からの眺望、江戸川から望む市街地の眺望など

2) 課題

旧水戸街道沿いに点在する古い町屋などの歴史的な風情は、年々かつての趣を失いつつあります。水辺の近くにある歴史的な景観要素の魅力度を再認識できる景観づくりを進め、水辺や並木といった自然要素と歴史要素をつなぐ役割が期待されます。

また、緑豊かで賑わいある商店街の演出や、活気ある大学キャンパスの雰囲気がいまにもにじみ出すような景観づくりが望まれます。

松戸駅周辺では、過剰で無秩序な屋外広告物の色彩が景観を阻害し、駅前の路上にはみ出した看板や放置自転車が障害者のバリアになるなどの要素も見られます。

違法駐輪を是正し、ゴミの集積所を清潔に保つなどの景観阻害要因の改善や、道路のバリアフリー化を進めて安全・快適で回遊性の高い歩行者空間の整備が期待されます。さらに未利用地などを有効に活用し、にぎわいと活力のある、歩いて楽しい回遊性のある洗練された中心市街地の景観づくりを進めていくことが望まれます。

3) 景観づくり方針

考え方	行動方針
● 台地と低地の地形を活かした景観づくりを目指します。	1)-①地形を活かした景観づくりをしよう
● 江戸川などの自然の恵みを活かした景観を目指します。	1)-②みどりはたらしきを活かす景観づくりをしよう
● 旧松戸宿の歴史を大切にしたい景観づくりを目指します。	2)-①歴史的な景観に新たな価値を見出し再生しよう
● 歴史的・文化的建造物等は保全するように努めます。	2)-④歴史的・文化的建造物の保全を図ろう
● 地域の歴史や文化を学び、伝えます。	2)-⑥松戸の歴史や文化に触れられる社会を増やそう
● 公共の案内板・サイン等は見やすく理解しやすいものとなるよう努めます。	3)-④公共の案内板・サイン等は見やすく理解しやすい工夫をしよう
● 戸定邸を広くPRして観光客を増やすとともに、維持管理を充実させます。	4)-③景観的に重視すべき建造物を評価し保全しよう
● ユニバーサルデザインを推進して、安全で快適な空間形成を図ります。	5)-②ユニバーサルデザインを進めよう
● 景観づくりに取り組む市民、大学、事業者の活動を支援します。	5)-③景観づくりに取り組む市民活動を支援しよう

●景観づくりに参加しましょう（下記は一例。進め方はP90～P94を参照）

[市民]

- ・ 玄関前やバルコニーに植栽を施し、街にうらおいを与えます。
- ・ 自転車は決められた場所に駐輪します。
- ・ 地域清掃などのボランティア活動に参加します。
- ・ 祭事などに参加して、地域の歴史や文化を後世に伝えます。

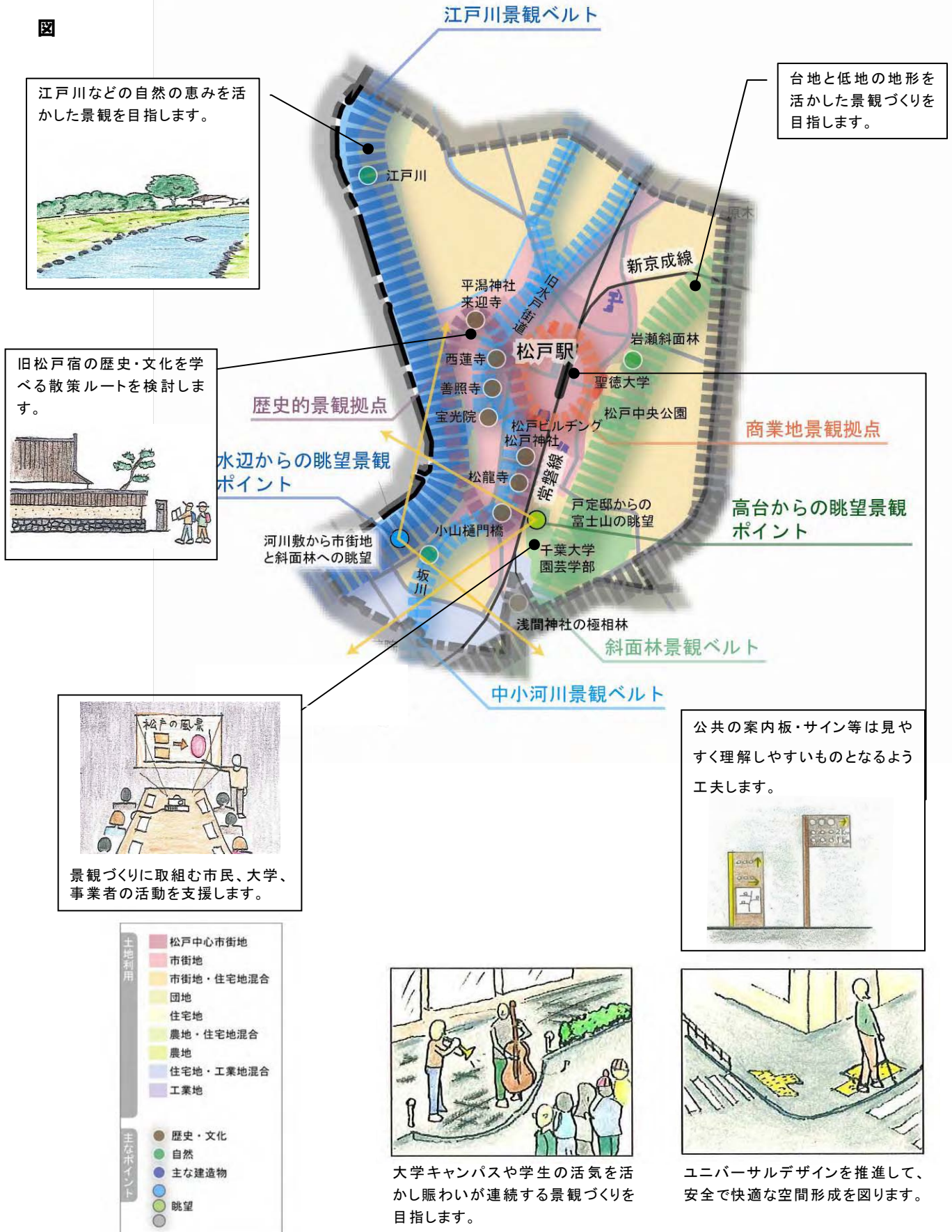
[事業者]

- ・ 屋外広告物の掲出ルールを守ります。
- ・ 店先にスペースがある場合は、街に憩いと安らぎを与える植栽やベンチなどを設けます。
- ・ 商品や製品の陳列（ディスプレイ）を工夫し、店先を演出します。

【行政】

- ・ 道路のバリアフリー化を進めて安全快適な歩行者空間を整備します。
- ・ 公共の案内板・サイン等を見やすくします。
- ・ 坂川再生事業を通じて坂川の魅力を伝えます。
- ・ 市民や市民団体、事業者の景観づくりの活動を支援します。

図



■景観拠点 [商業地景観拠点－松戸駅周辺]

松戸駅周辺は本市を象徴する中心的な商業拠点であり、市外からの訪問者に市を印象づける「まちの顔」の役割を担っています。伊勢丹通りや市役所通りなどを中心に、電線類の地中化など景観に配慮した道路整備が行われ、にぎわいを形成しています。一方、過剰で無秩序な屋外広告物の色彩が景観を阻害し、駅前路上にはみ出した看板や放置自転車が障害者のみならず、通行人のバリアになるなど、好ましくない要素も見られます。



松戸駅西口

また、駅近接の利便性から商業施設などと複合する都市型住宅建設が行われ、中には斜面林の高さを超えて建設される例も見られます。さらに旧水戸街道沿いでは、古い町屋と高層マンションが並ぶ景観が見られます。

今後は、大規模建築物や屋外広告物の掲出、夜間照明のデザイン、未利用地や空地の有効活用などの市街地の景観づくりについて検討するとともに、道路のバリアフリー化を進めて安全・快適で回遊性の高い歩行者空間を整備します。

また、違法駐輪を是正し、ゴミの集積所を清潔に保つなどの、事業者や住民が主体的に景観阻害要因の改善に取り組むことも身近な景観づくりを進めていくうえで大切となります。

景観づくり方針

●商業・業務拠点として、にぎわいと品格が調和した思いやりのある景観づくり

考え方	行動方針
● 大学キャンパスや学生の活気を活かし賑わいが連続する景観づくりを目指します。	3)-①パブリックな空間を活かし賑わいが連続する景観づくりをしよう
● にぎわいと活力のある回遊性の高い空間づくりを目指します。	3)-②生活感あふれる空間を活かした景観づくりをしよう
● 過剰な屋外広告物や夜間照明を規制するルールを検討します。	3)-③景観を阻害する屋外広告物、工作物等を規制しよう
● 分かりやすい公共サインのあり方を検討します。	3)-④公共の案内板・サイン等は見やすく理解しやすい工夫をしよう
● ゴミの集積所のあり方を工夫します。	3)-⑤ゴミ集積場のあり方を考えよう
● 放置自転車をなくし、無電柱化を推進するなど、安全で快適な景観づくりを目指します。	3)-⑥みんながいつも安心できる景観づくりを進めよう
● 周辺環境に調和する大規模建築物の形態、意匠、色彩等のルールをつくります。	4)-④周辺環境に調和する大規模建築物のルールをつくらう
● 松戸の核となる商業地景観拠点として、景観づくりのルールを検討します。	4)-⑤規制を話し合って景観を保全しよう
● 駅周辺のオープンスペース等の活用により、うるおいと賑わいを創出します。	5)-①未利用地の活用をすすめよう
● バリアフリーを推進して、安全で快適な歩行者空間の創出を図ります。	5)-②ユニバーサルデザインを進めよう
● 駅前清掃などの市民活動を支援します。	5)-③景観づくりに取り組む市民活動を支援しよう

■景観拠点〔歴史的景観拠点－旧松戸宿周辺〕

旧水戸街道沿いには、現在でも古い町屋などが点在し、昔の営みや暮らしを今に伝えていきます。また、坂川には小山樋門橋（レンガ橋）といった建造物もあります。しかし、このような歴史的な風情は年々かつての趣を失いつつあります。

しかしながら、松戸神社周辺の旧市街地では、松戸神社の祭礼とともに、近年では、松戸宿坂川献燈まつりなど坂川の魅力を活かし、昔からの伝統行事を引き継ぎながら新しい文化を創る取組みが進められています。これらの行事は、人によるこびや安らぎを与え、本市の景観づくりの重要な要素となっています。このような行事などソフト面から、松戸の歴史を再考するきっかけをつくることも景観づくりの一環です。



松戸神社



小山樋門橋(レンガ橋)

景観づくり方針

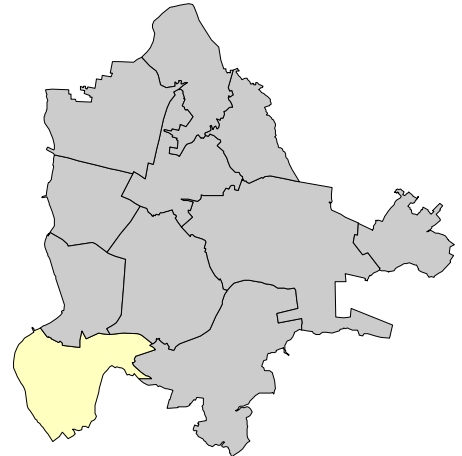
●商業・業務拠点にある歴史的景観の再評価

考え方	行動方針
● 伝統行事や年中行事などを活用して景観づくりの普及啓発を進めます。	2)-③人によるこびや安らぎを与える伝統行事を継承しよう
● 旧松戸宿の歴史・文化を学べる散策ルートを検討します。	2)-⑥松戸の歴史や文化に触れられる社会を増やそう
● 旧松戸宿の歴史・文化を学び、松戸の市街地の変遷を伝えます。	3)-⑦伝統や文化から人の営みを学び景観づくりのあり方を考えよう

(2) 矢切地域

1) 概況、特性

本地域の地形は、江戸川沿いの低地部にまとまった農地を見ることができ、東側の台地部には整然とした住宅地が広がっています。矢切地区は、歴史的な矢切の渡しを始め、小高い丘の上には、小説「野菊の墓」の文学碑がある西蓮寺と眺望のよい野菊苑、矢切神社など、歴史・文化資源が多く見られます。さらに、江戸川沿いの低地部には、矢切ねぎを特産とする優良な農地が広がり、台地部の境に長く連なる斜面林と共に一体的なみどりの景観として自然に恵まれた地域です。



分類	景観要素
自然（水と緑）	江戸川、矢切・栗山の斜面林、矢切の農地、坂川沿いの水辺など
歴史・文化	栗山古墳、矢切神社、西蓮寺・野菊の墓文学碑、宝蔵院、矢切庚申塚、浅間神社の極相林、二十世紀梨誕生の地記念碑など
まちなか・営み	矢切の渡し、柳原水閘、栗山浄水場の配水塔など
まち並み・眺望	野菊苑から見る農地、江戸川、富士山の眺望、江戸川からの眺望など

2) 課題

矢切・栗山地区の斜面林は本市の代表的な緑地であり、恒久的な斜面林の保全や、崖線の上からの良好な眺望景観が楽しめるように、緑地と農地の保全が望まれます。

そして、歴史やまち並み、眺望を活かした観光ルートの作成や、農地や菜園を活かして松戸の食を体験できる場を設けるなどの多面的な交流機能の充実が望まれます。

また、本地域では、東京外かく環状道路の建設が進められており、環境に配慮したみどり豊かな道づくりが求められています。

3) 景観づくり方針

考え方	行動方針
● 斜面林、農地、河川がつくる広大な景観を保存します。	1)-①地形を活かした景観づくりをしよう
● 自然や歴史、眺望などを活かし、観光も取り入れた多面的な交流拠点を目指します。	1)-②みどりのはたらきを活かす景観づくりをしよう
● 東京外かく環状道路の建設では、みどりの創出と復元に努めます。	1)-⑧緑の多い街並みにしよう
● 遺跡や古墳などを周辺の景観づくりに活かします。	2)-⑤歴史的・文化的景観の復元を考えよう
● 地域の歴史や文化を学び伝えます。	2)-⑥松戸の歴史や文化に触れられる社会を増やそう
● 斜面林の景観および台地からの優れた眺望景観を大切にします。	4)-②優れた眺望景観を確保しよう

●景観づくりに参加しましょう（下記は一例。進め方はP90～P94を参照）

【市民】

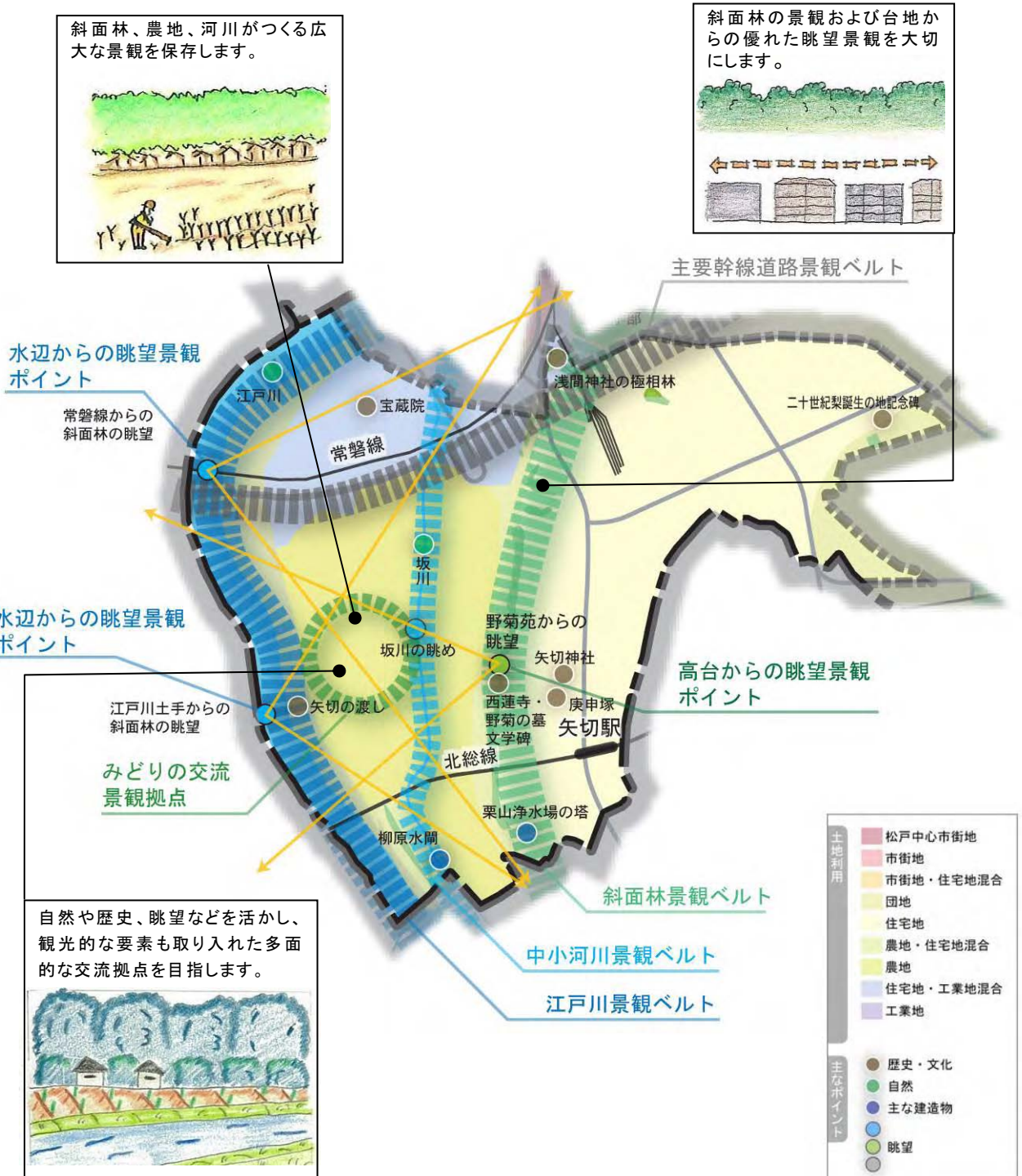
- ・ 玄関前やバルコニーに植栽を施し、街にうるおいを与えます。
- ・ 地域で行われているボランティア活動に参加します。
- ・ 観光客に松戸の歴史や文化、良いところを伝えます。

【事業者】

- ・ 事業内容が斜面林に与える影響を考えます。
- ・ 屋外広告物の掲出ルールを守ります。
- ・ 資材置き場等は周囲の景観に配慮します。

【行政】

- ・ 矢切栗山地区の斜面林を特別緑地保全地区に指定し守ります。
- ・ 川のレクリエーション交流拠点づくりを育成し農地の保全を図ります。
- ・ 景観づくりのルールを検討します。



■景観拠点 [みどりの交流景観拠点－矢切農地一帯]

矢切地区と江戸川対岸の柴又を結ぶ矢切の渡しは、手漕ぎの和船が珍しく東京近郊に残る唯一の渡し船です。櫓を漕ぐ音は、「日本の音風景百選」にも選ばれ、心に残る景観の一つになっています。さらに、下矢切の船着場の東に広がる矢切ねぎで有名な矢切地区の農地は、背後の斜面林と一体的なみどりの景観として広く市民に親しまれています。



野菊苑からの眺望

広大な農地の中にある散策路を、1.5km程進んだ斜面林に覆われた小高い丘の上には、小説「野菊の墓」の文学碑がある西蓮寺と眺望のよい野菊苑があります。

今後も、歴史的な交通機関である渡し舟を保全しつつ、船上から穏やかな時の流れを感じられる豊かな景観の形成を図るとともに、崖線の上からは、良好な眺望景観が楽しめるように、緑地と農地の保全を図っていきます。



野菊の墓文学碑

また、歴史やまち並み、眺望を活かした観光ルートを新たに作成し、農地や菜園を活かした松戸の食を体験できる場を設けるなど、多面的な交流機能の充実を図ります。

景観づくり方針

●みどりの保全活用と河川敷の眺望を活かした開放感のある景観づくり

考え方	行動方針
● 斜面林、農地、河川がつくる広大な景観を守り育てます。	1)-③骨格となるみどりの景観を守ろう
● 河川敷から斜面林までの空間の一体感を創出します。	1)-⑦緑と水のつながりを創っていこう
● 斜面林の景観を阻害しないようなルールを検討します。	4)-⑨周辺の街並みと斜面林、河川に考慮した外観の建物をつくろう

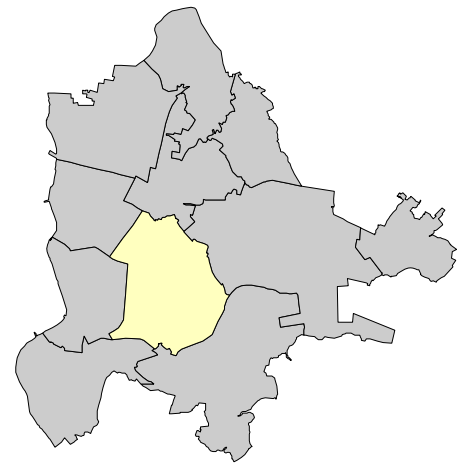
(3) 明地域

1) 概況、特性

本地域は、低地に国分川、台地部には谷津が入り込み、比較的起伏に富む地形となっています。地域の大半は住宅を主体とする市街地ですが、台地と低地の境には斜面林が残り、国分川沿いに水田と集落地が見られます。上本郷地区においては、本福寺、カンスケ井戸、風早神社など、豊富な歴史・自然特性が見られます。

斜面林が身近に存在していることに加え、開発から数十年経た住宅地などでは、植栽した緑が大きく成長している地域も見られます。また、古くからの地主や農業を営んでいる家々では屋敷林が残るなど、ゾーン全体として緑に恵まれた住環境です。

また、中央部には稔台工業団地があり、本市の生産拠点となっています。



分類	景観要素
自然（水と緑）	カンスケ井戸、宮の下湧水、上本郷の斜面林など
歴史・文化	上本郷遺跡、風早神社、明治神社、本福寺、本覚寺など
まちなか・営み	上本郷の三匹獅子舞など
まち並み・眺望	稔台工業団地、松戸運動公園（サクラなどの緑）、和名ヶ谷クリーンセンターの煙突など

2) 課題

地域の大半を占める住宅地では、沿道部分の緑化や壁面の工夫による緑豊かで統一感ある景観づくりが望まれます。今後も、成長した緑の保全を念頭に住宅地として成熟した景観を育成していくことが大切です。

また、稔台工業団地の東側では住宅と工場の混在する地区もあり、工業団地及びその周辺においても、良好な景観を形成するための緑化事業や建築物などの景観に対する配慮などが望まれます。

3) 景観づくり方針

考え方	行動方針
● 斜面林や台地からの湧水などの自然特性を活かした景観づくりを目指します。	1)-①地形を活かした景観づくりをしよう
● 稔台工業団地は、敷地にみどりを増やしたり、看板等の工夫など、事業者と協働により工業地景観の向上を図ります。	1)-⑧緑の多い街並みにしよう
● 歴史的な景観や営みを活かした景観づくりを目指します。	2)-①歴史的な景観に新たな価値を見出し再生しよう
● 松戸らしさを伝える伝統行事を継承します。	2)-③人によるこびや安らぎを与える伝統行事を継承しよう
● 地域の歴史や文化を学び、伝えます。	2)-⑥松戸の歴史や文化に触れられる社会を増やそう
● 駅前には賑わいが創出できるよう景観づくりに努めます。	3)-①パブリックな空間を活かし賑わいが連続する景観づくりをしよう

●景観づくりに参加しましょう（下記は一例。進め方はP90～P94を参照）

〔市民〕

- ・ 敷地境界には生垣を配植するなど、街にうるおいを与えます。
- ・ 祭事などに参加して、地域の歴史や文化を後世に伝えます。

〔事業者〕

- ・ 敷地境界を緑化するなど、まち並みの構成に配慮します。

〔行政〕

- ・ 市民の景観づくりに関する活動を支援します。
- ・ 景観づくりのルールを検討します。

図



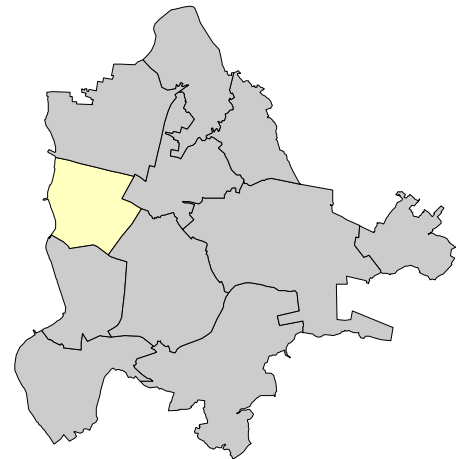
(4) 古ヶ崎地域

1) 概況、特性

本地域は、北松戸駅西側のかつての水田地帯を個別開発により住宅が建設され、生産緑地地区のみどりと混在しながらも、立体的に目にする緑が少なく密集した住宅地となっています。

西端には江戸川、平坦な地形の中に坂川、新坂川、六間川などの多くの河川が流れています。

また、北松戸工業団地は、県内でも有数の内陸工業団地で、隣接して競輪場があり、特徴ある生産拠点となっています。



分類	景観要素
自然（水と緑）	江戸川、坂川、新坂川・親水護岸、六間川、横六間川など
歴史・文化	正真寺、香取稻荷神社など
まちなか・営み	日本大学松戸歯学部、松戸競輪場など
まち並み・眺望	北松戸工業団地、生産緑地のある低層住宅地など

2) 課題

生産緑地地区のみどりが多少混在している古ヶ崎地区や、かつての水田地帯に広がっていった栄町地区の住宅地では、全体的に緑が少なく密集した住宅地が形成されています。公園やオープンスペースの適切な配置などにより、防災面と景観面に配慮した緑化推進による良好な住宅環境形成を誘導することが望まれます。

北松戸工業団地は、運輸業・流通業への業種転換が見られます。工業団地においても、景観に与える影響の大きい企業の協力をいただき、良好な景観を形成するための緑化事業や建築物などの景観に対する配慮などが望まれます。

3) 景観づくり方針

考え方	行動方針
● 坂川などの水辺空間を活かしたうるおいのある景観づくりを目指します。	1)-②みどりのはたらきを活かす景観づくりをしよう
● うるおいある生活環境を実現するため、市民・事業者・行政が協働して緑化に努めます。	1)-⑥地域のみどりを適切に手入れしよう
● 北松戸工業団地は、敷地にみどりを増やしたり、看板等の工夫など、事業者と協働により工業地景観の向上を図ります。	1)-⑧緑の多い街並みにしよう
● 地域の歴史や文化を学び、伝えます。	2)-⑥松戸の歴史や文化に触れられる社会を増やそう
● 北松戸の競輪場周辺は賑わいある空間の創造と景観の向上に努めます。	3)-①パブリックな空間を活かし賑わいが連続する景観づくりをしよう
● 小公園、ポケットパークなどの身近なみどりの空間づくりに努めます。	5)-①未利用地の活用をすすめよう

景観づくりに参加しましょう（下記は一例。進め方はP90～P94を参照）

【市民】

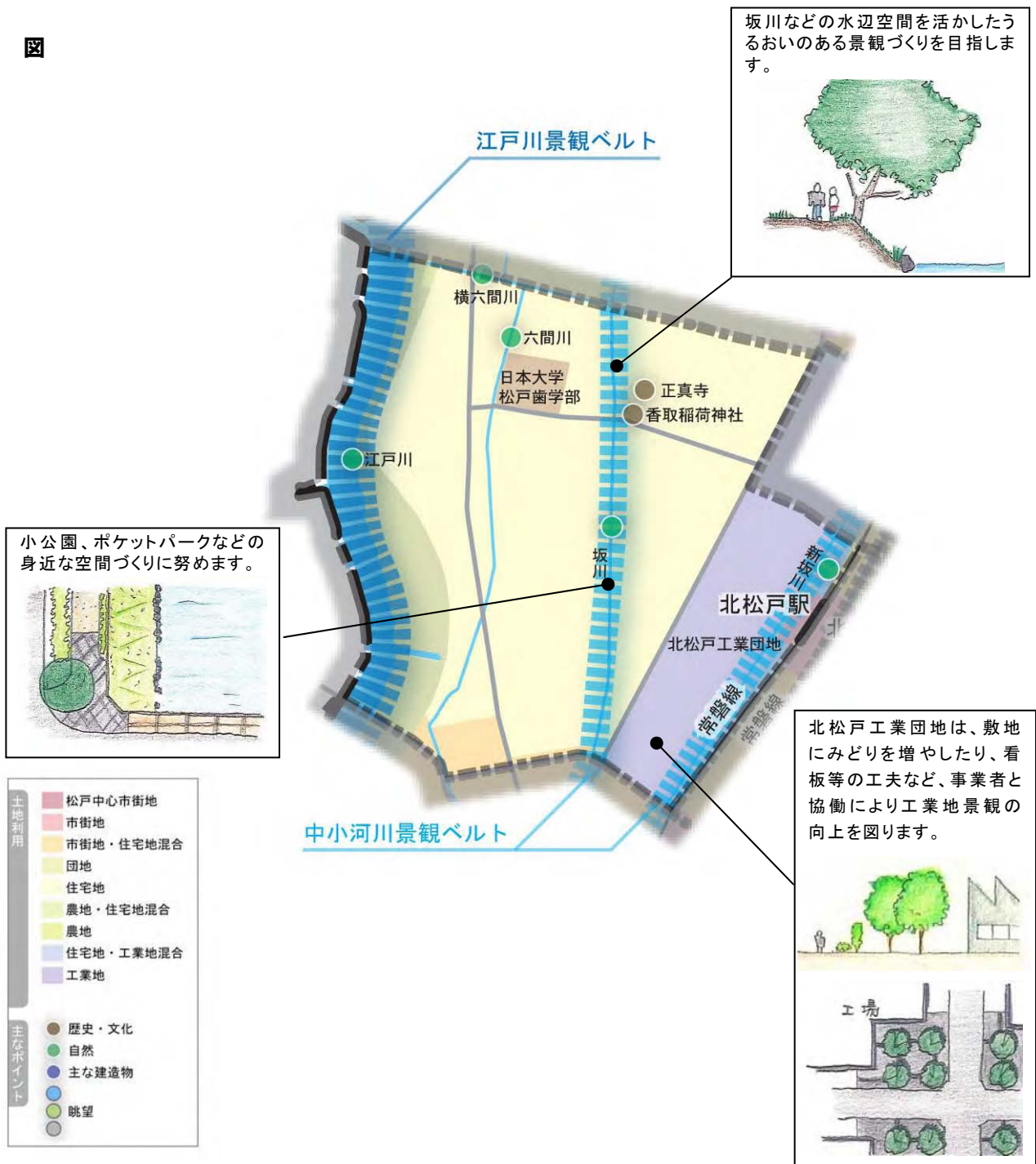
- ・ 玄関前やバルコニーに植栽を施し、街にうるおいを与えます。
- ・ 市民参加で行われている河川の清掃活動に参加します。

【事業者】

- ・ 敷地境界を緑化するなど、まち並みの構成に配慮します。

【行政】

- ・ 親水に配慮した河川整備に努めます。
- ・ 市民の景観づくりに関する活動を支援します。
- ・ 景観づくりのルールを検討します。



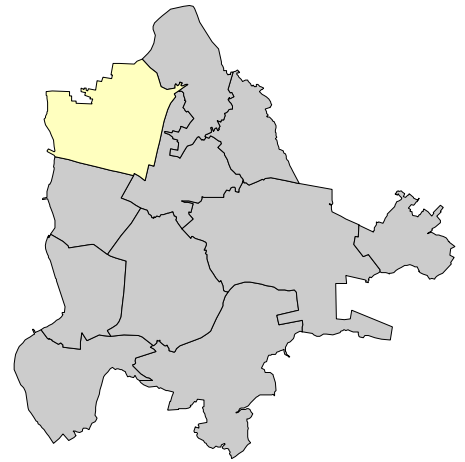
(5) 新松戸地域

1) 概況、特性

本地域は、ほぼ全域が江戸川沿いの低地部に属し、東側の市街地と西側の農地に大きく二分されます。西端には、江戸川が流れ、坂川、新坂川、神明堀などの河川やまこも池などの水資源にも恵まれています。

坂川放水路周辺の主水新田などは水田が広がります。

新松戸駅周辺は様々な商業施設や大学が立地し、賑わいと活気ある様子を見ることができます。新松戸から江戸川の間の一帯は、土地区画整理事業により計画的な整備が行われ、街路樹が多く、中高層住宅地と低層の戸建住宅地が広がっています。



分類	景観要素
自然（水と緑）	新松戸中央公園、坂川放水路、まこも池、六間川、坂川親水プロムナード、新坂川・桜並木、横六間川、神明堀、水田地帯、江戸川など
歴史・文化	稲荷神社、金蔵院など
まちなか・営み	流通経済大学、流山鉄道、新松戸駅前など
まち並み・眺望	けやき通り、きょうちくとう通り、いちよう通り（馬橋駅西口）イルミネーションなど

2) 課題

新松戸駅周辺は、過剰で無秩序な屋外広告物などの景観を阻害する要因もあり、必ずしも良好な景観とはいえません。こうした景観阻害要因の改善を図ることにより、安全で快適な商業地の景観づくりが望まれます。

住宅地周辺は、街路樹や住宅の緑化、新松戸中央公園の緑の働きを活かした緑豊かな景観づくりが望まれます。また、西端のまこも池周辺の水田地帯は、実りの充実を通じて、うるおいと安らぎが感じられる自然景観を活かした景観づくりが望まれます。



新松戸のけやき通り

3) 景観づくり方針

考え方	行動方針
<ul style="list-style-type: none"> ● けやき通りやきょうちくとう通りなど、良好な沿道景観を大切にします。 ● 豊かな水田風景の保全に努めます。 	1)-③骨格となるみどりの景観を守ろう
<ul style="list-style-type: none"> ● 流山鉄道の列車と新坂川沿いの桜などが調和した風景を大切にします。 	1)-④心のよりどころとなる緑を継承しよう
<ul style="list-style-type: none"> ● 水田地帯は、実りの充実を通じて、うるおいと安らぎを感じる景観づくりを目指します。 	1)-⑦緑と水のつながりを創っていこう
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の歴史や文化を学び、伝えます。 	2)-⑥松戸の歴史や文化に触れられる社会を増やそう
<ul style="list-style-type: none"> ● 新松戸駅周辺の土地区画整理された地域では、整備された都市機能と開放的な生活空間を活かした景観づくりを目指します。 	3)-⑧身近な生活環境から、景観資源を見いだそう
<ul style="list-style-type: none"> ● バリアフリーを推進して、安全で快適な歩行者空間の創出を図ります。 	5)-②ユニバーサルデザインを進めよう

●景観づくりに参加しましょう（下記は一例。進め方はP90～P94を参照）

【市民】

- ・ 玄関前やバルコニーに植栽を施し、街にうるおいを与えます。
- ・ 自転車は決められた場所に駐輪します。

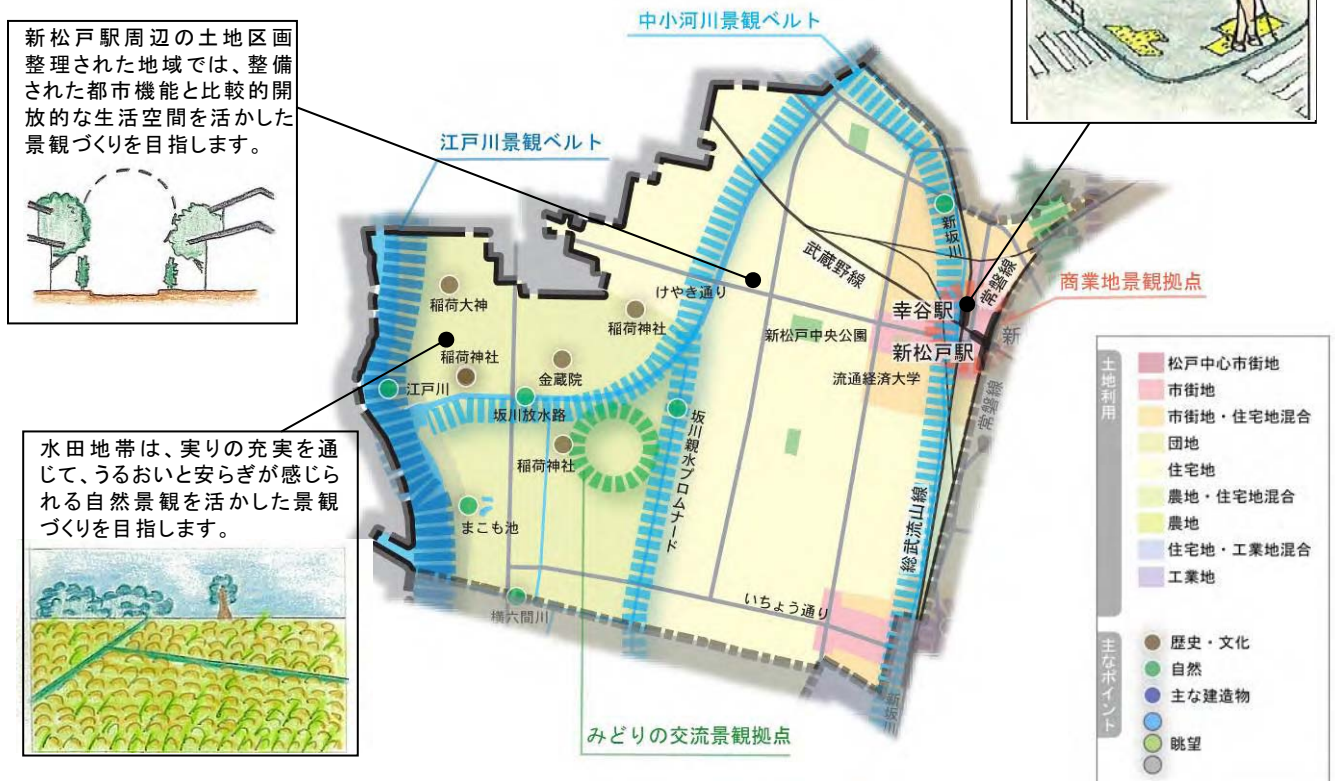
【事業者】

- ・ 屋外広告物の掲出ルールを守ります。
- ・ 商品や製品の陳列（ディスプレイ）を工夫し、賑わいを創出します。

【行政】

- ・ 市民の景観づくりに関する活動を支援します。
- ・ 景観づくりのルールを検討します。
- ・ 成熟した街路樹を大切にします。

図



新松戸駅周辺の土地区画整理された地域では、整備された都市機能と比較的開放的な生活空間を活かした景観づくりを目指します。

水田地帯は、実りの充実を通じて、うるおいと安らぎが感じられる自然景観を活かした景観づくりを目指します。

■景観拠点 [商業地景観拠点－新松戸駅周辺]

新松戸駅周辺は、様々な商業施設が立地し、通勤・通学のための鉄道利用者や、買い物や仕事などで訪れる人々、駅周辺に暮らす人々などの生活活動が重なり、賑わいと活気ある様子をみることができます。

その反面、過剰で無秩序な屋外広告物などで景観を阻害する要因もあり、必ずしも良好な景観とはいえません。こうした景観阻害要因の改善を図ることにより、安全で快適な商業地の景観の形成を目指します。



新松戸駅前

また、流通経済大学キャンパスを活かした若者で賑わうまちなかの景観の形成を図ります。

景観づくり方針

●景観阻害要因の改善による、安全で安心して過ごせる秩序あるまちなかの景観づくり

考え方	行動方針
● 大学キャンパスや学生の活気を活かし賑わいが連続する景観づくりを目指します。	3)-①パブリックな空間を活かし賑わいが連続する景観づくりをしよう
● 過剰な屋外広告物や夜間照明を規制するルールを検討します。	3)-③景観を阻害する屋外広告物、工作物等を規制しよう
● 分かりやすい公共サインのあり方を検討します。	3)-④公共の案内板・サイン等は見やすく理解しやすい工夫をしよう
● ゴミの集積所のあり方を工夫します。	3)-⑤ゴミ集積場のあり方を考えよう
● 周辺環境に調和する大規模建築物の形態、意匠、色彩等のルールを検討します。	4)-④周辺環境に調和する大規模建築物のルールをつくろう
● 市の中心的な商業系の景観拠点として、景観づくりのルールが必要です。	4)-⑤規制を話し合って景観を保全しよう
● 駅周辺のオープンスペース等の活用により、うるおいと賑わいの創出に努めます。	5)-①未利用地の活用をすすめよう

■景観拠点 [みどりの交流景観拠点－旭町農地一帯]

旭町地区には、まとまった農地が広がっています。また、近年の自然志向を背景に、レクリエーションを目的とした農業体験に対する市民の関心が高まっていることから、農地の有効利用や、既存の農地を利用した市民農園等の「(仮称)いきいきふれあい健康の里」の形成に努めます。

景観づくり方針

●市民の健康づくりを支援し、良好な農地の緑とふれあえる景観づくり

考え方	行動方針
● 遊休農地を解消し、農地の緑を継承しよう。	1)-④心のよりどころとなる緑を継承しよう
● 自然や土とふれあえる環境づくりを目指します。	1)-⑩自然のなかで学び、遊べる環境をつくろう